

Chapter 4

コーポレートデータ

Corporate Data

財務・非財務の両面から持続的成長を見える化し、企業価値向上を実現。
コーポレート・ガバナンスの強化を図るとともに、透明性ある情報開示を行っています。



- [49](#) コーポレート・ガバナンス
- [51](#) 財務ハイライト
- [52](#) 非財務ハイライト
- [53](#) グループ会社の概要
- [54](#) 会社情報 / 編集方針

コーポレート・ガバナンス

投資分野では「ESG」のくくりがありますが、当社はE（環境）とS（社会）は同列であり、G（ガバナンス：企業統治）はEとSの活動を遂行する上での基盤であると捉えています。当社は全従業員が社会との共存共栄、持続可能な成長を目指して一体となった活動に取り組むため、より強固なガバナンス体制の構築を進めていきます。

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社ではコーポレート・ガバナンスを経営上の重要課題のひとつとして捉え、経営の効率化・意思決定の迅速化、経営監視機能を充実させるための各種施策に取り組んでいます。

また、「内部統制システム基本方針」に則り、企業価値の向上に向け効率性と統制バランスを取りつつ、当社にふさわしい内部統制の構築を目指しています。

企業統治の体制

(1) 取締役会他

取締役会は8名の取締役、2名の社外取締役および4名の取締役監査等委員で構成されています。意思決定機関である取締役会および常務会は、会社全体の経営課題について討議、審議、決定をしています。また、取締役および各部門長で構成される事業幹部会議が毎月定期的に行われ、事業運営の効果的な展開を推進しています。

(2) 監査等委員会

当社は会社法に基づき監査等委員会を設置しています。監査等委員会は、4名の取締役監査等委員で構成されており、そのうち3名が社外取締役です。

(3) 指名報酬委員会

当社は、取締役会の任意の諮問機関として、指名報酬委員会（以下、本委員会という）を設置しています。

本委員会は社内取締役1名、社外取締役2名の計3名で構成されています。

2026年1月、4月に開催され、取締役候補者をはじめとした次期役員体制の答申案、取締役の業績連動部分の報酬も含めた個別の報酬額の答申案などについて策定し、取締役会に上申しました。

● 取締役

役 職	氏 名	担当および重要な兼職の状況
取締役会長	加藤 大輔	
代表取締役社長	栗原 進	技術戦略推進室担当
常務取締役	梶原 久	髙宮事業所長、塗料事業部長、 関連会社（塗料事業三販社）担当
常務取締役	川口 浩俊	コーティング事業部長、関連会社担当（海外）担当、 株式会社中京ペイントサービス社長、 藤倉化成塗料（天津）董事長、藤倉化成（佛山）塗料董事長、 上海藤倉化成塗料董事長、 FUJIKURA KASEI (THAILAND) CO.,LTD取締役
取締役	土谷 豊弘	管理本部長、監査室担当、 サステナビリティ推進部担当、関連会社（国内）担当
取締役	石井 貴宏	電子材料事業部長、メディカル材料部担当、 関連会社（合成樹脂事業）担当
取締役	須藤 和弘	佐野事業所長、環境安全部担当、輸出管理室担当
取締役	石本 貴幸	髙宮事業所副所長、化成品事業部長、 品質保証部担当、技術戦略推進室長
取締役（常勤監査等委員）	渡邊 博明	

● 社外取締役



（左から）
宮川 浩（監査等委員）
 宮川公認会計士税理士事務所長、
 公認会計士、税理士
妹尾 智子（監査等委員）
 仰星コンサルティング株式会社ディレクター、
 公認会計士
長浜 洋一
 藤倉コンボジット株式会社 社外取締役
迎田 由紀（監査等委員）
 LTE法律事務所 弁護士
川井 克之
 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社社外監査役、
 公認会計士川井克之事務所長 公認会計士、
 株式会社日本エー・エム・シー監査役

コーポレート・ガバナンス

2025年度の取り組み

(1)取締役会議題の見直し

社外取締役からの提言を受けて、取締役会における議題構成および報告内容の見直しを行いました。今後も、取締役会における議論の質を高め、より実効性の高い取締役会運営を実現するため、継続的な改善に努めてまいります。

(2)政策保有株式の縮減

政策保有株式について、その保有目的が適切か、保有に伴う便益やリスクが資本コストに見あっているかなど、事業環境の変化なども踏まえ見直しを行っています。継続して保有する必要がないと判断した株式については売却を進めるなど、政策保有株式の縮減に努めています。

(3)役員トレーニングプログラムの導入

取締役会実効性評価アンケートにて要望があったことを受け、取締役に求められる知識・能力の習得および継続的なアップデートの機会を提供するため、役員向けトレーニングプログラムを導入しました。本プログラムの配信コンテンツは、取締役としての職責や実務に即した内容となっています。

●取締役会のスキルマトリックス

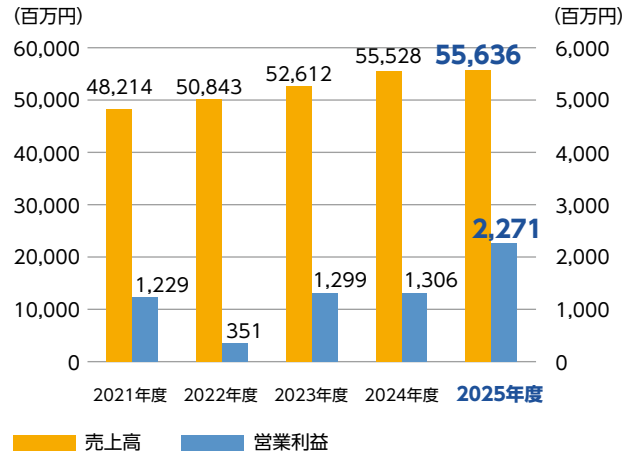
氏 名	企業経営	事業戦略	技術・製造	グローバル リーダーシップ	財務・会計	法務・ コンプライアンス	他業種知見	ESG・ 社会貢献
加藤 大輔	○	○		○				
栗原 進	○	○				○		
梶原 久	○	○		○				
川口 浩俊	○	○		○				
土谷 豊弘				○	○	○		
石井 貴宏		○		○				○
須藤 和弘		○	○					○
石本 貴幸		○	○					○
長浜 洋一	○	○			○			
川井 克之					○	○	○	
渡邊 博明			○			○		○
妹尾 智子					○		○	○
宮川 浩					○		○	
迎田 由紀						○	○	○

●各スキル項目の採用理由

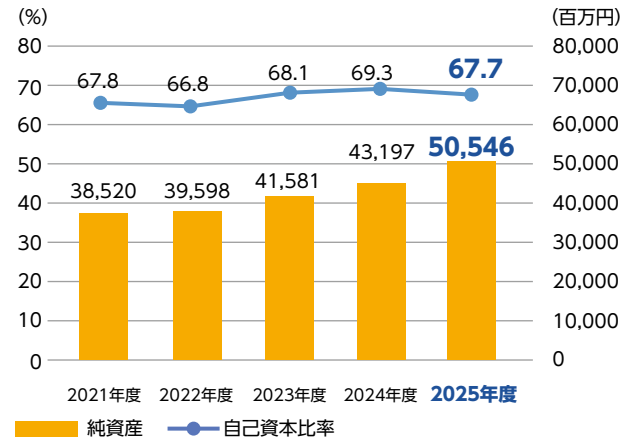
企業経営・事業戦略	企業におけるマネジメント経験・経営実績が必要であるため。 また、当社の企業価値向上のため成長戦略策定のスキル・知見が必要であるため。
技術・製造	新技術開発により培ってきた豊富な技術知見や 人や環境にやさしい製品づくりに関するスキル・知見が必要であるため。
グローバルリーダーシップ	当社のグローバル展開の成果を最大化するために、海外子会社での代表者や それに準じる経験があり、海外での事業マネジメントのスキル・知見が必要であるため。
財務・会計	当社資本の効率的な運用による企業価値最大化のために、強固な財務基盤構築、 成長投資の推進と株主還元強化の実現する確かな財務・資本戦略策定に関するスキル・知見が必要であるため。
法務・コンプライアンス	当社がグループ全体での経営監督の実効性向上のためにも、法務的知見 およびリスク管理分野でのスキル・知見を持つことが必要であるため。
他業種知見	他業種知見者の意見を聞き、企業や組織の枠を超えた知見を得ることが多様性の観点からも必要であるため。
ESG・社会貢献	この分野でさらなるスキル・知見の向上が必要であるため。

財務ハイライト(連結)

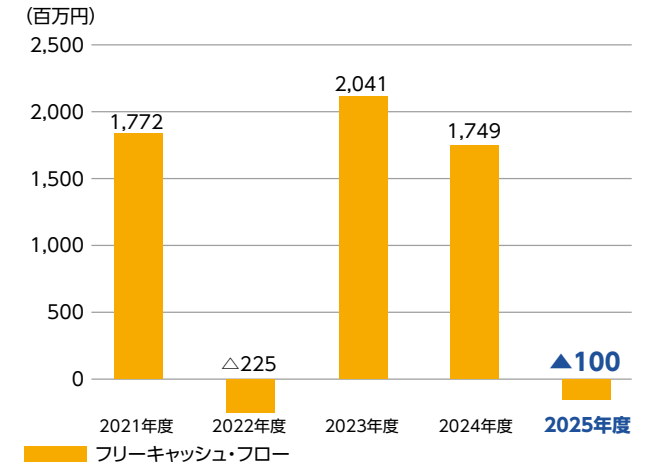
売上高・営業利益



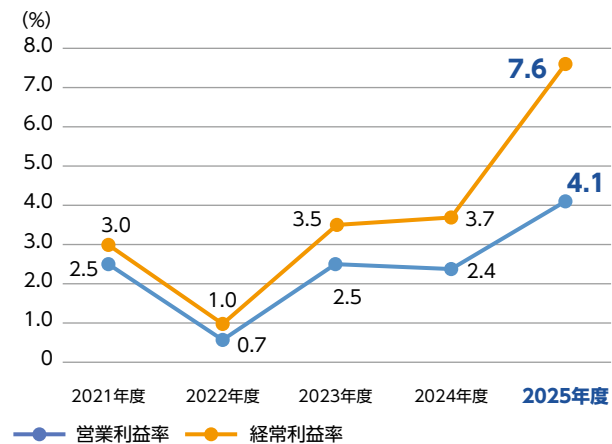
自己資本比率・純資産



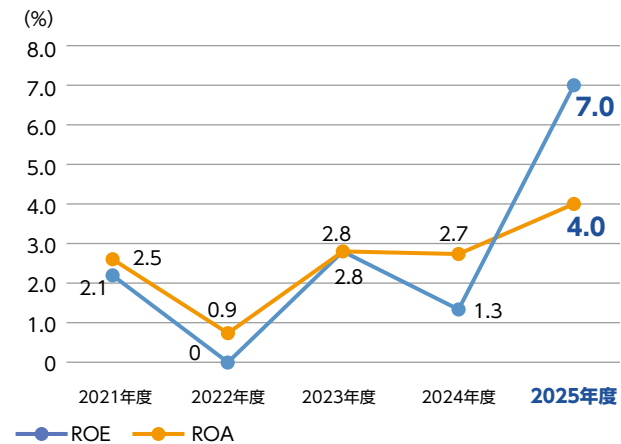
フリーキャッシュ・フロー



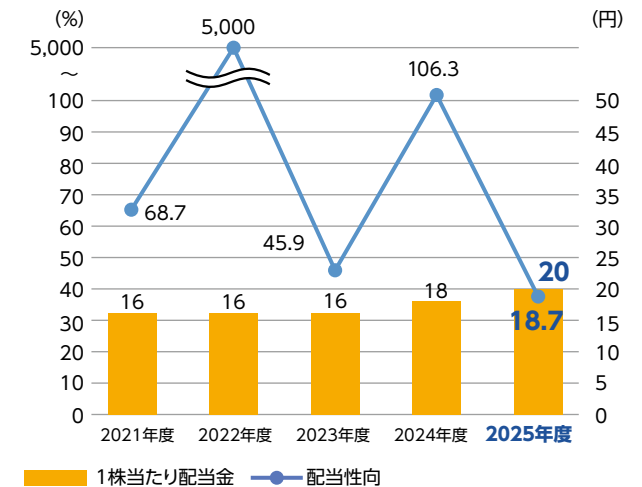
営業利益率・経常利益率



自己資本当期純利益率(ROE)・総資産経常利益率(ROA)

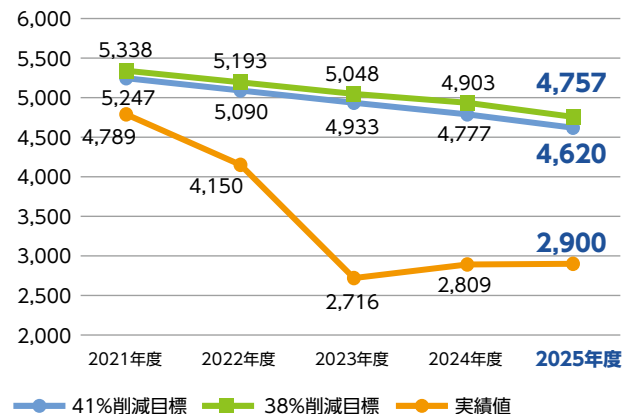


配当性向・1株当たり配当金



非財務ハイライト(単体)

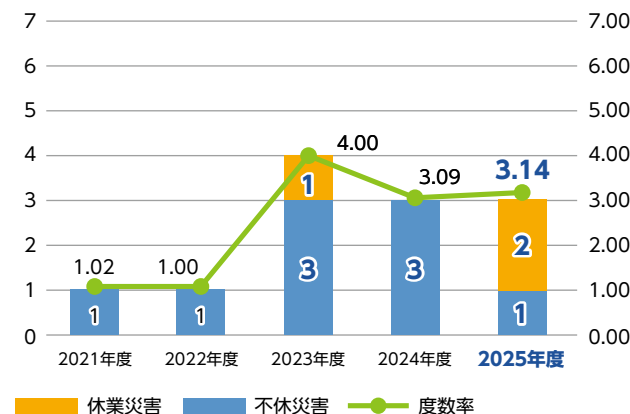
CO₂排出量と原単位の推移

CO₂排出量 (t-CO₂)


労働災害件数と度数率

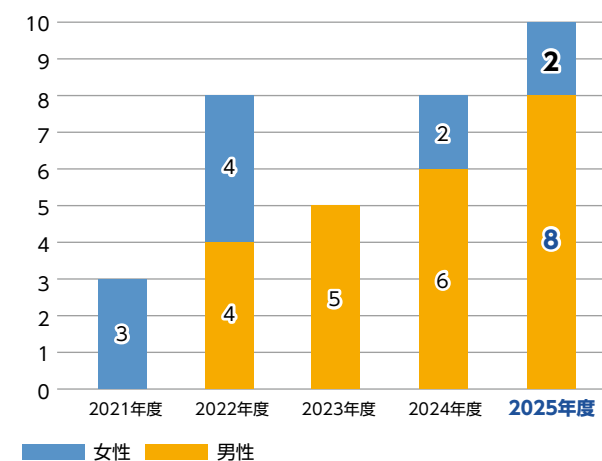
労働災害件数(件)

度数率(%)



育児休業取得者数

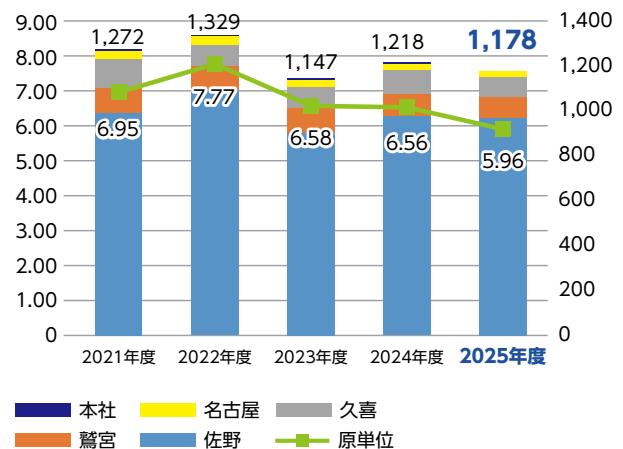
育児休業取得者数(人)



廃棄物排出量と原単位の推移

原単位 (t/億円)

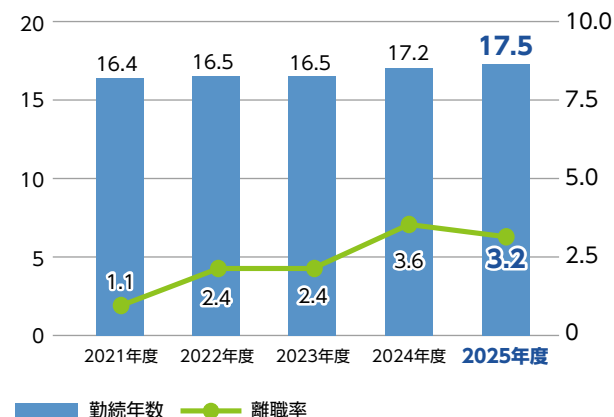
排出量 (t)



社員平均勤続年数と離職率

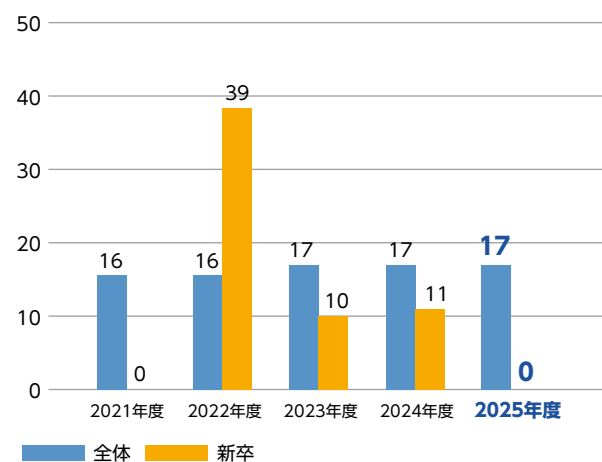
勤続年数(年)

離職率(%)



女性従業員比率と新卒女性従業員比率

女性従業員比率・新卒女性従業員比率(%)



グループ会社の概要

■ グループ会社ネットワーク



■ 藤倉化成株式会社

① 本社事務所

東京都港区
芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル
【主な業務】
経営管理、営業



② 佐野事業所

栃木県佐野市栄町12-1
【主な業務】
プラスチック用コーティング材・
建築用塗料・導電性塗料・
化成品の製造、配送管理



③ 鷺宮事業所 開発研究所

埼玉県久喜市桜田5-13-1
【主な業務】
技術・製品の開発



④ 名古屋事業所

愛知県東海市名和町三番割中3
【主な業務】
プラスチック用
コーティング材の調色・
営業、配送管理



⑤ 久喜物流センター

埼玉県久喜市高柳1205
【主な業務】
プラスチック用
コーティング材の調色、
配送管理



■ 国内グループ会社

⑥ フジケミ東京株式会社

東京都中央区日本橋堀留町1-2-10
日本橋堀留町ファースト5階
【主な業務】
建築用塗料の販売・施工管理



⑦ フジケミ近畿株式会社

大阪府大阪市北区天満1-3-21
ニチレイ天満ビル1階
【主な業務】
建築用塗料の製造・販売・施工管理、
プラスチック用コーティング材の
製造・販売、導電性塗料・化成品の販売



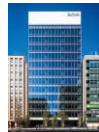
⑧ フジケミカル株式会社

福岡県福岡市中央区荒津2-3-10
【主な業務】
建築用塗料の製造・販売・施工管理



⑨ 藤光樹脂株式会社

東京都港区芝5-31-17
PMO田町10階
【主な業務】
合成樹脂の原材料販売、
加工品の販売



■ 海外グループ会社

⑩ レッドスポット

Red Spot Paint & Varnish Co., Inc.
1107 East Louisiana St., Evansville,
Indiana 47711 U.S.A.
【主な業務】
プラスチック用コーティング材の
開発・製造・販売



⑪ フジケム ソネボーン

Fujichem Sonneborn Ltd.
Jaxa Industrial Finishes91-95
Peregrine Road, Hainault,
Ilford Essex, IG6 3XH England
【主な業務】
プラスチック用コーティング材の
開発・製造・販売



⑫ 上海藤倉化成塗料有限公司

Shanghai Fujikura Kasei Coating Co., Ltd.
No.177 Yingong Road, Fengxian district,
Shanghai 201417, China
【主な業務】
プラスチック用コーティング材の製造・販売



⑬ 上海藤倉化成塗料有限公司 天津分公司

Shanghai Fujikura Kasei Coating Co.,Ltd. Tianjin Branch
Rm. Part of 1602, 16F, Master Work Tower,
Nanma Road and No.2 Nankai Road,
Nankai District, Tianjin, China, 300100
【主な業務】
プラスチック用コーティング材の販売

⑭ 上海藤倉化成塗料有限公司 佛山分公司

Shanghai Fujikura Kasei Coating Co.,Ltd. Foshan Branch
Room No. 808-1, Poly Business Center,
No.3, Guotai South Road, Dehe Community,
Daliang Street, Shunde District, Foshan
City, Guangdong Province, China, 528300
【主な業務】
プラスチック用コーティング材の販売

⑮ フジクラカセイタイランド

Fujikura Kasei (Thailand) Co., Ltd.
88/69 Asia Industrial Estate
Suvarnabhumi(AIES) Moo 4, Khlongsuan,
Bangbo, Samutprakarn 10560 Thailand
【主な業務】
プラスチック用コーティング材の製造・販売、
建築用塗料・導電性塗料の販売



⑯ フジクラカセイインドネシア

PT. Fujikura Kasei Indonesia
Kawasan Industri Jatake, Jl. Industri 3,
Blok AC No. 6B,Bunder, Cikupa,
Tangerang, Banten, Indonesia 15710
【主な業務】
プラスチック用コーティング材の製造・販売



⑰ フジクラカセイベトナム

Fujikura Kasei Vietnam Co., Ltd.
Plot 13.1, road 10,
Cam Dien-Luong Dien Industrial Park,
Cam Giang Ward,
Hai Phong City, Vietnam
【主な業務】
プラスチック用コーティング材の製造・販売



⑱ フジクラカセイマレーシア

Fujikura Kasei Malaysia Sdn Bhd
No.2, Jalan Palam 34/18A,
Taman Perindustrian Pak Chun,
40470 Shah Alam,
Selangor Darul Ehsan, Malaysia.
【主な業務】
プラスチック用コーティング材の製造・販売



⑲ フジクラカセイコーティング・インディア

Fujikura Kasei Coating India Private Ltd.
PLOT NO. 201-202, 225-226, SECTOR-9,
PHASE-3,IMT-BAWAL, 123501, Haryana,
India
【主な業務】
プラスチック用コーティング材の製造・販売



会社情報

会社概要

■設立

1938年9月22日(藤倉化成株式会社)

■グループ従業員数(2026年3月31日現在)

1,198名(うち藤倉化成427名)

■資本関連情報(2026年3月31日現在)

- ・資本金／5,352百万円
- ・発行済株式数／30,850,000株
- ・株主数／5,342名(単元未満除く)
- ・主な株主／株式会社フジクラ

■連結財政情報(2026年3月期)

- ・総資産／71,449百万円
- ・純資産／50,546百万円
- ・自己資本比率／67.7%
- ・1株当たり純資産／1,666円

■連結研究開発関連情報(2026年3月期)

- ・研究開発費／2,820百万円
- ・対売上高比率／5.07%

当社サステナビリティサイトのご案内

- ☑ 最新の情報は
当社サステナビリティサイトをご覧ください。



編集方針

編集方針(サステナビリティレポート発行にあたって)／

本サステナビリティレポートは、国内外で事業を行う藤倉化成グループ(連結ベース)を対象として業績や中長期の価値創造に向けた経営方針、事業戦略など、財務情報と非財務情報を総合的にステークホルダーの皆様にご報告するものです。

対象範囲／当社および当社グループの事業活動を対象としています。

対象期間／主に2025年4月1日～2026年3月31日

※一部、継続的な取り組み、特記事項等については、対象期間外の活動を含んでいます。

参考ガイドライン／本誌は以下のガイドラインを参考にサステナビリティの取り組みを報告しています。

- ・ISO26000(国際標準化機構)「社会的責任に関する手引き」
- ・国連グローバル・コンパクト
- ・GRI(Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
- ・SASBスタンダード
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」

免責事項

本報告書には、藤倉化成の過去および現在の事実に加え、発行日時点における計画や見通しなどの将来予測が含まれています。この将来予測は、記述時点で入手した情報に基づく仮定や判断に基づいており、諸条件の変化により、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なる可能性があります。読者の皆様には、以上をご理解いただきますようお願い申し上げます。

公開方法

藤倉化成では、デジタル化の進展と環境保護の観点から、2025年度から本報告書の公開をウェブサイト限定としています。

発行

藤倉化成株式会社 サステナビリティ推進部